

共同発掘プログラム

■浅茅野旧共同墓地遺骨発掘調査

8月20日(金)～24日(木)

◇オリエンテーション(調査説明会) 20日(金) 10:00～

◆遺骨発掘調査の概要

- ・調査区域 ①宗谷郡猿払村浅茅野成田の沢「旧共同墓地」
 - ・調査面積 2,400㎡(5×6mグリッド×70区画)②枝幸郡浜頓別町共和「第一飛行場滑走路跡草地」
 - ・調査面積 未定(調査中)
- ・対象 1942～44年、浅茅野飛行場建設工事に連行され犠牲となった朝鮮人及び日本人タコ部屋労働者の埋葬遺骨の発掘調査
- ・発掘指導 朴善周(韓国・忠北大教授・形質人類学)
安信元(韓国・漢陽大教授・考古学)
- ・計画概要 ①は、戦前より浅茅野地区の共同墓地であり、建設工事に関わる犠牲者の多くが埋葬されていた。戦後に墓地は近隣に移転するが、改葬された遺骨は一部にとどまり、犠牲者遺骨の幾つかは依然として旧共同墓地内に残置されているものと推測される。2005年10月の試掘調査では犠牲者の遺骨1体を発掘した(写真)。②は、「工事中に犠牲者が埋められた」との現地の証言等を総合し、埋葬の可能性が高いと判断して、今回の調査区域に含めた。
- ・処置方法 調査の過程で遺骨等が発見された場合は、遺骨や埋葬状況に関する考古学・人類学等の調査を踏まえ、当実行委員会の管理のもとで適切な場所に安置・保管される。遺族に対する遺骨返還については、関係機関との十分な協議を行い、人道的見地から早期の返還実現を目指すものとする。



2005年、試掘で発見された頭蓋骨



2001年、朱鞠内遺骨発掘

■遺骨発掘総括報告会・犠牲者追悼会(一般公開)

8月24日(木) 午後(発掘終了後)

- ・遺骨発掘調査についての総括的な報告会を参加者・住民を交えて開催。専門家による報告を踏まえ、住民、関係者を交えた場で、遺骨発掘の意義と今後について話し合う。
- ・報告会に続いて、犠牲者に対する追悼会を行う。アイヌ民族のイチャルパ(追悼儀式)にはじまり、仏教、キリスト教、儒教などの追悼が行われる。

■朱鞠内旧光顕寺への遺骨安置・追悼会

8月25日(木) 午後(最終日)

- ・現地撤収後に幌加内町朱鞠内の旧光顕寺に遺骨が安置される。旧光顕寺は朱鞠内湖畔に建つ古寺で、朱鞠内の発掘遺骨の安置場所とともに、強制労働の歴史展示館として運営される。朱鞠内での遺骨安置と追悼会によって、ワークショップは終了する。



発掘調査期間中の一般見学について

発掘期間中の見学を随時受け付けています。見学を希望される方は、直接発掘現場までお越し下さい。ただし、発掘時間(9:00～16:00)以外の見学はご遠慮下さい。また、毎日の発掘終了後にはその日の進捗状況について短時間の説明会を予定しています。詳しくは現地事務局までお問い合わせ下さい。

総括報告会・犠牲者追悼会へのご参加を 8月24日(木)午後より

上記説明のとおり、発掘終了後に住民や一般の方を対象にした「遺骨発掘総括報告会」を開催します。一連の発掘調査の結果報告を行い、共に犠牲者追悼のセレモニーに参列をお願いします。多数のご参加をお待ちしています。

学術研究プログラム

8/17(木)
a.m. 韓国参加者到着・受付
p.m. 北海道大学特別講義
「北大所蔵の強制連行関係史料について」
宿泊 本願寺札幌別院(予定)

18(金)
a.m. フィールドワーク(内容未定)
p.m. 国際学術シンポ ① 於・北大
宿泊 本願寺札幌別院(予定)

19(土)
a.m. バス移動(札幌→浅茅野)
p.m. 到着・受付
宿泊 現地宿泊施設
開会式・ウェルカムパーティ

20(日)
a.m. 発掘オリエンテーション
p.m. 発掘作業開始(旧共同墓地)
夜 猿払村盆おどり

21(月)
終日 発掘作業<2日目>
夜 国際学術シンポ ②
「記憶の継承」

22(火)
終日 発掘作業<3日目>
p.m. 「韓国・朝鮮の遺族と共に全国集会」
国際学術シンポ ③
夜 映画「アンニョンさよなら」

23(水)
終日 発掘作業<4日目>
夜 パネルディスカッション

24(木)
a.m. 発掘作業終了・撤収
p.m. 公開総括報告・犠牲者追悼会
夜 東アジアの交流のタベコンサート

25(金)
a.m. 現地撤収・移動(現地→朱鞠内)
p.m. 朱鞠内光顕寺へ遺骨捧持
終了・現地で解散
(深川方面へ路線バスあり)

■北海道大学特別講義(プレ学習プログラム)

「北大所蔵の強制連行関係史料について」

8月17日(木) 14:00~17:00

- ・場 所 北海道大学文学部(札幌市北区北9条)
- ・講 師 井上勝生(北大教授)、白木沢旭児(北大教授)、鄭 炳浩(漢陽大教授)
- ・内 容 北炭、植民学関係史料を中心に、強制連行に関する貴重史料の紹介

■国際学術シンポジウム

◇セッション1 — 東アジアの過去を心に刻み、共に未来を拓くために

8月18日(金) 18:00~20:30

- ・場 所 北海道大学農学部大講堂(札幌市北区北9条)
- ・講 師 李 泳禧(韓国・漢陽大名誉教授)、森田俊男(国際平和教育研究会代表)
徐 勝(立命館大教授)

◇セッション2 — 記憶の継承

「浅茅野飛行場建設の真相と証言を聞く集い」

8月21日(月) 18:30~

- ・講 師 劉 宝辰(中国・河北大教授)「戦争の記憶・中国と日本の未来」
「韓国・朝鮮の遺族と共に 一遺骨問題の解決へ2006夏一 全国集会」
8月22日(火) 14:00~
・7月末から一ヶ月間、全国各地で開かれてきた同集会が浅茅野で最終開催。
韓国からのご遺族の証言と、浅茅野住民による証言を聞く。

◇セッション3 — パネルディスカッション・共同ワークショップのあゆみと未来

8月23日(水) 18:30~

- ・1997年から始まった共同ワークショップの10年のあゆみと未来を論議。

■聞き取り調査・遺構フィールドワーク(当時の記憶・古老を訪ねて)

- ・浅茅野飛行場の戦前戦中の様子や戦後の改葬、住民の手による記憶継承の営みなどを聞き取り調査する。また、第一、第二飛行場跡地(滑走路・掩体壕・軍営跡など)、浜頓別共同墓地、金田番屋跡、旧国鉄天北線など、当時の工事に関係した場所のフィールドワークを行い、周辺の遺構に関する記録調査にも取り組む。

文化交流プログラム

■アイヌ・日本・韓国 ~東アジアの音と文化の交流

■オホーツク未来プロジェクト

- ・風力発電、ホタテ養殖産業、酪農体験、カヌー、夕陽撮影会、トレッキング
朝鮮文化、アイヌ文化体験

■猿払村盆おどり 8月20日(日) 18:00~

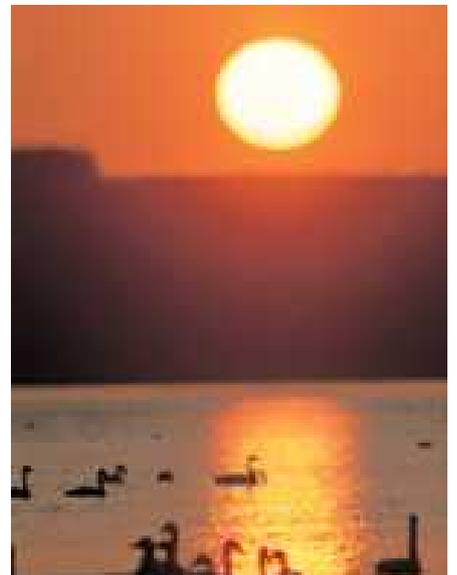
■映画上映「あんにょん・サヨナラ」

8月22日(火) 21:00~

- ・2005 韓日共同制作、金兌鎰監督、釜山国際映画祭ドキュメンタリー賞受賞

■東アジア交流のタベ タラノピゴムコンサート

- ・出演 鄭泰春、朴恩玉、たう(塚田タカヤ・波多野信子・宇井 宏)、小川 基ほか



共同ワークショップ参加のよびかけ

そうやぐんさるふつむらあさぢの

2005年秋、北海道の最北部に程近い宗谷郡猿払村浅茅野の旧共同墓地の林から、一体の成人男性の遺骨が発掘されました。遺骨はその後の調査からアジア太平洋戦争下に行われた強制労働による朝鮮人犠牲者のものと推定されています。

戦時下の1942年～44年、猿払・浜頓別では陸軍の主導による飛行場建設が急がれており、多数の朝鮮人が強制連行され犠牲となりました。過酷な労働と虐待、伝染病などによって次々と命を落としていった朝鮮人の数は、判っているだけでも89名にのぼります（猿払村・浜頓別町役場所蔵の埋火葬認証証による）。

犠牲者は共同墓地に埋葬、あるいは火葬され、近くの寺院に預けられました。なかには遺族に遺骨が還されたケースもありましたが、依然として少なくない数の犠牲者の遺骨が、工事現場近くの旧共同墓地などに残されていると思われます。

戦後、土の中に残された犠牲者の悲しみをオモウ浅茅野の人々によって改葬が試みられました。遺骨発見には至らなかったものの、埋葬地の土を犠牲者の故郷である韓国に運びました。また、浜頓別高校の郷土研究サークルは飛行場建設に関する調査を粘り強くすすめ、犠牲の事実を記録しています。地元有志の手で追悼碑が建立されるなどの活動も続けられてきました。こうした人々の活動が、犠牲の事実を風化させずに記憶にとどめ、昨秋の遺骨発見につながったのでした。

戦時下に日本に強制連行された朝鮮人は約70万人、中国人は約4万人とされています。全国各地の強制連行の現場では、戦後60年を経てもなお故郷の遺族のもとに還らぬまま、全国の寺院、あるいは山野に置かれ続けている遺骨が少なくありません。

私たちは昨秋の発掘結果を踏まえて、今、犠牲者の遺骨の全面改葬を決意し、アジアの人々と猿払・浜頓別の人々が共に取り組む「東アジアの平和な未来のための共同ワークショップ」を開催いたします。

この共同ワークショップには、日本人、韓国・朝鮮人、中国人、アイヌ民族をはじめとする、国籍や民族、世代を越えた多くの人々の参加が予定されています。期間中、寝食を共にしながら過ごす8日間の日程では、共に汗を流し歴史を掘り起こす「共同発掘プログラム」、その経験を具体的知識とする「学術研究プログラム」、そして、相互理解と未来の創造の可能性を切り開く「文化交流プログラム」が準備されています。これらのプログラムを通じて、参加者のなかに新たな発見と出会いの場が生みだされることでしょう。

ここに「東アジアの平和な未来のための共同ワークショップ」への貴方のご参加を呼びかけます。

犠牲者の遺骨から届く歴史の声に耳を傾け、アジアからつどう人々と語り合い、共同の未来を創る営みを始めましょう。なにより、発掘された犠牲者の遺骨をご遺族のもとに届けようではありませんか。

最後に、共同ワークショップ成功のための募金を心からうったえ、開催の趣旨へのご理解とご協力、ご支援を重ねてお願い申し上げます。

2006年夏 実行委員会一同

開催要項

・主催 旧日本陸軍浅茅野飛行場建設強制連行犠牲者遺骨発掘実行委員会

(委員会構成団体：猿払・浜頓別実行委員会、韓国・漢陽大学校民族学研究所、忠北大学校中原文化研究所、光云大学校メディア映像学部、東アジア共同ワークショップ委員会、韓国Peace Town、空知民衆史講座、強制連行・強制労働犠牲者を考える北海道フォーラム)

・主管 強制連行・強制労働犠牲者を考える北海道フォーラム

・協賛支援 強制動員真相究明ネットワーク・京畿文化財団(韓国)・民衆史道連

・開催期間 2006年8月18日(金)～25日(金)《7泊8日・詳細別記》

・募集人数 200名(先着順、但し全日程参加者を優先受付)

・事務局 「共同ワークショップ事務局」《参加申込・問い合わせ先》

TEL: 0164-27-2359 / FAX: 0164-27-2890

〒074-0141 北海道深川市多度志 630 一乗寺気付(殿平)

ホームページ: <http://www.asajino.net/> Eメール: info@asajino.net

郵便振替: 02750-5-64138 口座名義: 「浅茅野発掘募金」

【現地事務局】TEL: 01635-2-3076 / FAX: 3-4062 (9:00-17:00)

携帯: 090-1384-2862 (24時間受付)

宗谷郡猿払村鬼志別「猿払村商工会内」(担当: 岡本)

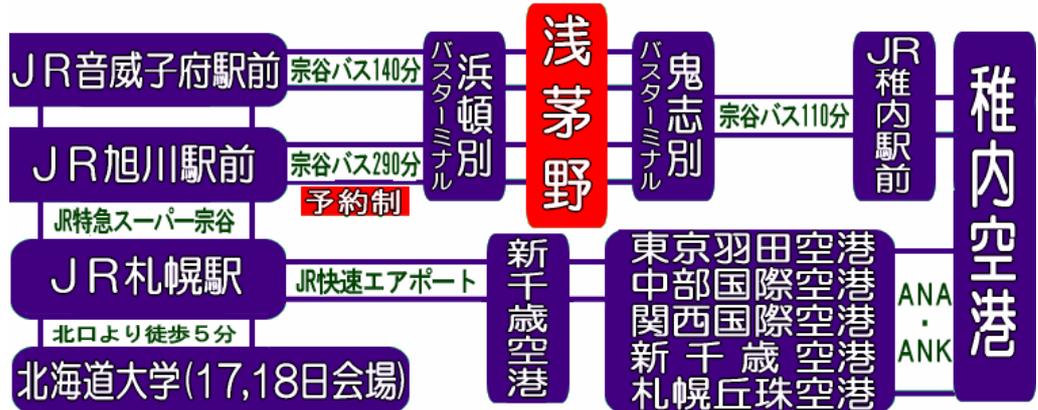
・参加費 一般・社会人 30,000円 高校・大学・大学院生 20,000円

- 参加希望者は別紙「参加申込書」にご記入の上、上記事務局へEメール、FAX、郵送のいずれかでお申し込み下さい。
- 高校生以下、留学生、海外の参加費については別に定めます。事務局までお問い合わせ下さい。
- 全日程参加を原則としますが、部分参加については日割による参加費(一般5,000円/日、学生3,000円/日)を適用します。
- 参加費は事前に納付下さいますようお願いいたします。パンフレット添付の郵便振替用紙をご利用下さい。
- 費用には期間中の宿泊、食費、期間中の移動費、資料代、及び傷害保険料が含まれます。なお、現地までの交通費は自己負担となります。ただし、札幌からの参加者は19日朝、札幌から猿払までの無料貸切バスをご利用いただけます。
- 猿払・浜頓別住民で参加される場合は、「現地準備室(事務局)」までお申し込み、お問い合わせをお願いいたします。
- その他、ご不明な点などは、上記「共同ワークショップ事務局」並びに「現地事務局」までお問い合わせください。

交通アクセス



- ・ ANA国内線
0120-029-222
- ・ 宗谷バス
0162-23-5586
- ・ 宗谷バス札幌予約
011-241-0241
- ・ JR音威子府駅
01656-5-3004
- ・ JR稚内駅
0162-23-2583



【現地連絡先】 TEL: 01635-2-3076 FAX: 01635-3-4062

- ・ 猿払・浜頓別実行委員会 猿払村鬼志別「猿払村商工会内」(担当: 岡本)
- ・ 携帯電話 090-1384-2862 (24時間受付)

・ 8月17、18日札幌会場での参加者集合場所

17、18日は会場が札幌市内となります。日中は北海道大学クラーク会館(北8条通、北大生協となり)で、それ以降、夜間は宿泊先の西本願寺札幌別院(北3条西19丁目)にて参加者の受付を行っています。

・ 8月19日朝「札幌→浅茅野」直行バス(事前申込制)をご利用される方へ

19日朝、札幌市内から現地への無料直行バスを運行します。ただし、ご利用になるには事前申込(参加申込書に記入)が必要です。乗車定員の都合上、事前に申込が無い方はご利用いただけませんのでご注意ください。

・ 8月19日以降、現地において途中参加される方へ

8月19日以降、直接現地へ向かわれる方は、事前にご自身の交通手段と経路、到着時間を参加申込書に記入するなどして事務局までお知らせ下さい。また、到着後は速やかに事務局で受付を済ませて下さい。

・ 自家用車・レンタカーで参加の方へ

8月17、18日の札幌会場には駐車スペースがありません。両日のお車でのご参加はご遠慮下さい。なお、お車で現地への移動中および期間中に発生した事故や盗難などに関して、当実行委員会では一切の責任を負いかねます。お車の管理には十分ご注意ください。現地では委員会が指定する駐車場をご利用下さい。

East Asian Workshop for Peace
Sarufutsu - Hamatonbetsu, Hokkaido
Summer 2006



東アジアの平和な未来のための共同ワークショップ
2006.8.18-25

<http://www.asajino.net/> ☒ info@asajino.net

郵便振替: 02750-5-64138 「浅茅野発掘基金」



浅茅野飛行場犠牲者遺骨発掘

～東アジアの過去を心に刻み、未来を共に拓く

東アジアの平和な未来のための 共同ワークショップ



2006. 8. 18 – 25.

北海道～札幌・猿払・浜頓別・朱鞠内

【主催】旧日本陸軍浅茅野飛行場建設強制連行犠牲者遺骨発掘実行委員会